

# 世界初、羽田空港での自動運転車いすを活用したサービスを開始 ～新たな生活様式に対応した、より安全でシームレスな移動をご提供します～

2020年7月1日  
日本航空株式会社  
日本空港ビルディング株式会社  
WHILL 株式会社



日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂 祐二、以下「JAL」)、日本空港ビルディング株式会社(所在地:東京都大田区、代表取締役社長執行役員兼 COO:横田 信秋、以下「日本空港ビルディング」)、ならびに近距離用のモビリティを開発・販売する WHILL 株式会社(所在地:神奈川県横浜市、代表取締役社長兼 CEO:杉江 理、以下「WHILL」)の3社は、羽田空港において、世界で初めてとなる自動運転車いす(自動運転パーソナルモビリティ)サービス(\*1)を開始します。本サービスは、JALが目指す「JAL SMART AIRPORT(\*2)」の新たなサービスの1つとして、空港をご利用のすべてのお客さまに、安全で快適、シームレスな移動をご提供するものです。

JALは羽田空港国内線ターミナルにおいて、デジタル端末の活用によってサービス品質を強化した、スムーズで快適な空港「JAL SMART AIRPORT」の実現を目指しており、Self Baggage Drop(自動手荷物預け機)や保安検査場自動ゲートの設置、ならびにカウンターのリニューアルなどを順次行っております。自動運転車いすの導入により、シームレスかつ快適なサービスを充実してまいります。

本サービスは、車いすご利用時に空港係員との接触が回避されることにより、新たな生活様式への対応や新型コロナウイルスの感染リスク低減にも寄与することができます。

(\*1) 空港における自動運転パーソナルモビリティ(一人乗りの移動手段)の実用化は、本件が世界初となります。自動運転車いすは6月8日より羽田空港に導入されており、今回は当該自動運転車いすをJALの目指すサービスモデルと連携させるものです

(\*2) JAL 2020年2月20日付プレスリリース第19128号「『JAL SMART AIRPORT』、羽田空港で一部オープン」  
参照 URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202002/005494.html>

## 【自動運転車いすサービスの概要】

■提供開始日: 2020年7月1日(水)

■場所: 羽田空港国内線第1ターミナル南ウイング  
保安検査場B通過後に設けられた待機場所(WHILL Station)から3~7番搭乗口まで  
※対象搭乗口は順次拡大予定

■内容: 待機場所からご搭乗便の搭乗口まで、自動運転車いすにてご案内  
※ご利用終了後は自動運転により待機場所まで返却

■対象者: 対象搭乗口をご利用のすべてのお客さま



今後も、JAL、日本空港ビルデング、WHILLの3社は、羽田空港国内線第1ターミナル全域へのサービス展開を目指してまいります。また、JALとWHILLは、ご自宅から空港、そして目的地までをシームレスに結びつける新たな移動体験の創出に向け、これからも連携してチャレンジを続けてまいります。

以上